

院内がん登録  
2017年症例データ

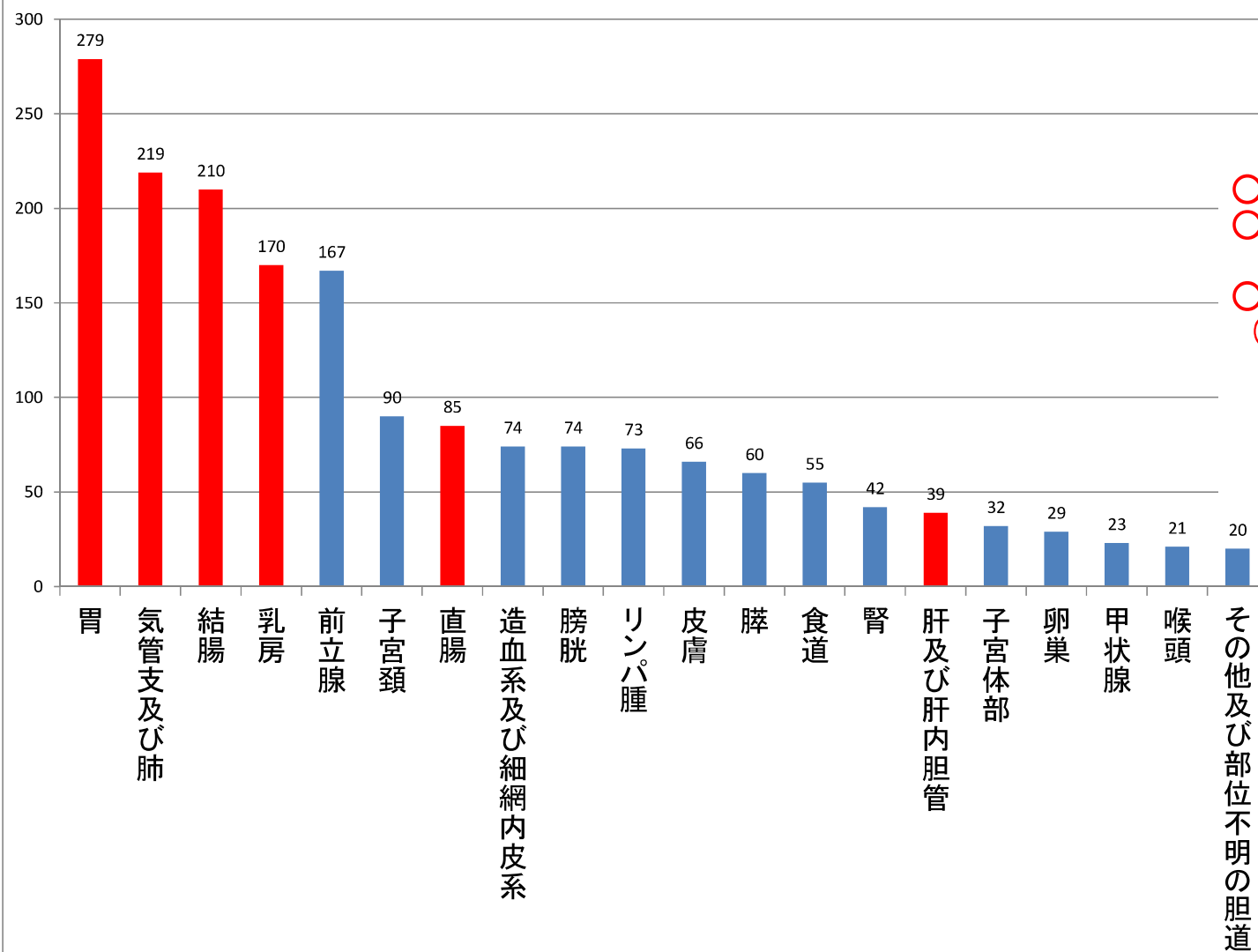
## 部位(コード)登録件数

2017年症例 1,968件

コード	部位名	件数
C00	口唇	0
C01	舌根部	2
C02	その他及び部位不明の舌	5
C03	歯肉	2
C04	口腔底	1
C05	口蓋	1
C06	その他の口腔	1
C07	耳下腺	3
C08	その他の唾液腺	2
C09	扁桃	4
C10	中咽頭	1
C11	鼻咽頭	3
C12	梨状陥凹	3
C13	下咽頭	7
C14	その他の口唇, 口腔及び咽頭	0
C15	食道	55
C16	胃	279
C17	小腸	7
C18	結腸	210
C19	直腸S状結腸移行部	15
C20	直腸	85
C21	肛門及び肛門管	0
C22	肝及び肝内胆管	39
C23	胆のう	13
C24	その他の胆道	20
C25	膵	60
C26	その他の消化器	0
C30	鼻腔及び中耳	1
C31	副鼻腔	2
C32	喉頭	21
C33	気管	0
C34	気管支及び肺	219
C37	胸腺	3
C38	心臓, 縦隔及び胸膜	4
C39	その他の呼吸器系及び胸腔内臓器	0

コード	部位名	件数
C40	肢の骨, 関節及び関節軟骨	0
C41	その他の骨, 関節及び関節軟骨	1
C42	造血系及び細網内皮系	74
C44	皮膚	66
C47	末梢神経及び自律神経系	0
C48	後腹膜及び腹膜	5
C49	結合組織, 皮下組織及びその他の軟部組織	2
C50	乳房	170
C51	外陰	3
C52	膣	0
C53	子宮頸	90
C54	子宮体部	32
C55	子宮, NOS	0
C56	卵巣	29
C57	その他の女性性器	0
C58	胎盤	0
C60	陰茎	0
C61	前立腺	167
C62	精巣	4
C63	その他及び部位不明の男性性器	1
C64	腎	42
C65	腎盂	9
C66	尿管	7
C67	膀胱	74
C68	その他の泌尿器	0
C69	眼及び付属器	0
C70	髄膜	11
C71	脳	8
C72	脊髄, 脳神経及びその他の中枢神経系	0
C73	甲状腺	23
C74	副腎	0
C75	その他の内分泌腺及び関連組織	2
C76	その他及び不明確な部位	0
C80	原発部位不明	7
	リンパ腫	73

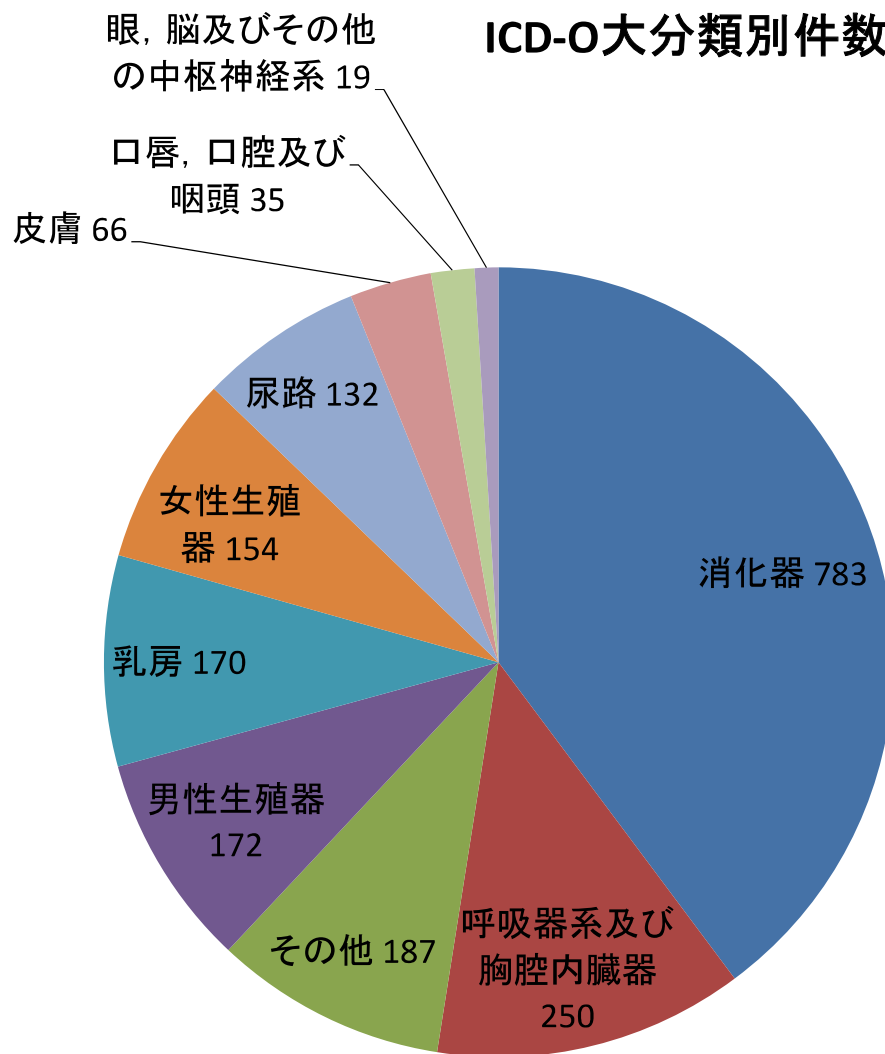
## 部位件数 上位20(2017年症例 1,968件)



○5大がんが51%  
 ○前立腺, 白血病,  
 リンパ腫が各々1割弱  
 ○2017年がん罹患数予測  
 (国立がん研究センター)  
 の上位は大腸, 胃, 肺,  
 乳房(女性), 前立腺  
 であり, 当院も同様で  
 ある

○赤色: 5大がん(日本人に多い胃がん, 大腸がん(結腸+直腸), 乳がん, 肺がん, 肝がんを指す)

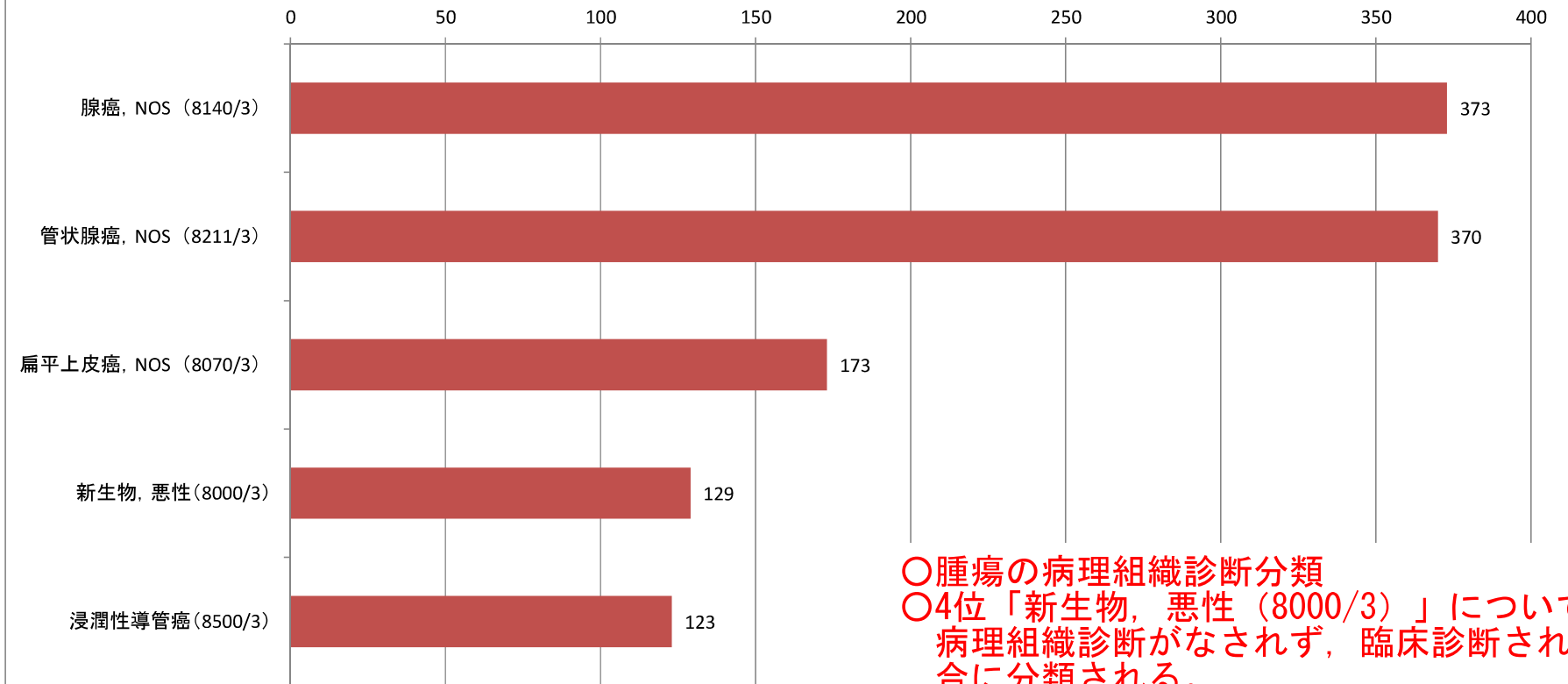
# ICD-O大分類別件数



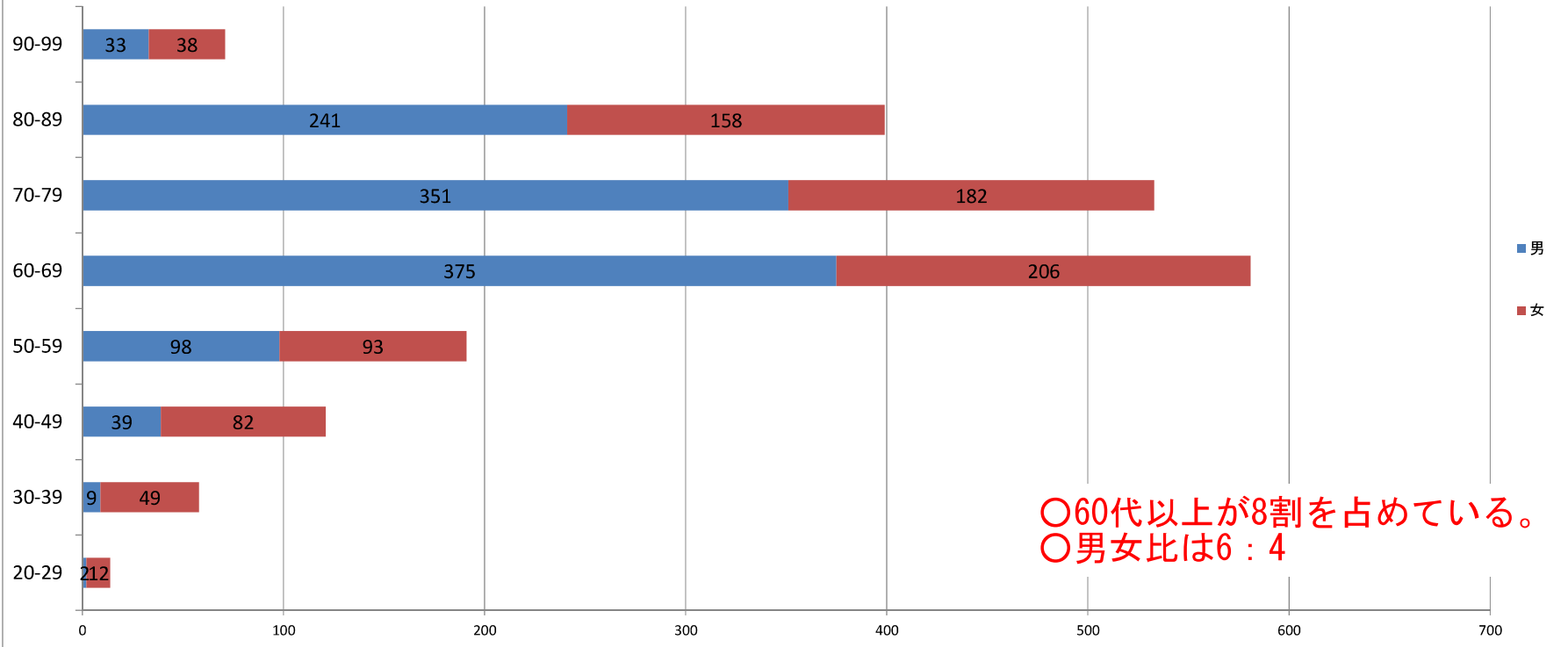
○腫瘍の局在（部位）分類  
○消化器が4割, 次いで呼吸器系が1割強

- 消化器
- 呼吸器系及び胸腔内臓器
- その他
- 男性生殖器
- 乳房
- 女性生殖器
- 尿路
- 皮膚
- 口唇, 口腔及び咽頭
- 眼, 脳及びその他の中枢神経系

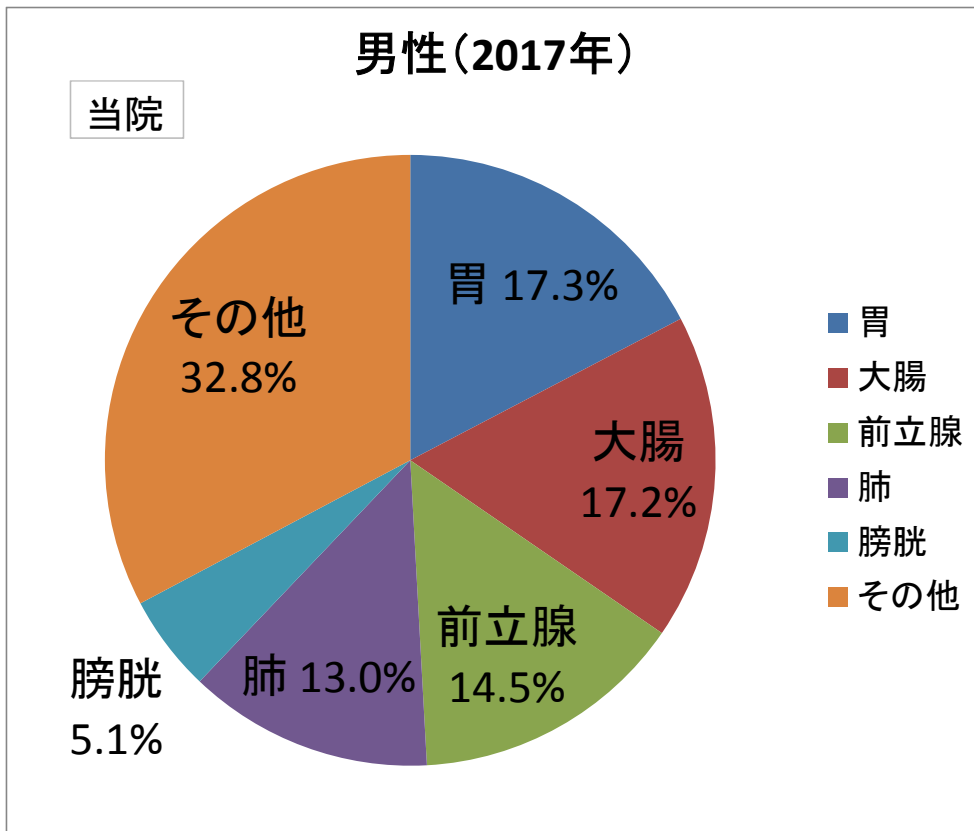
## 組織診断名コード 上位5



# 年齢・性別 件数



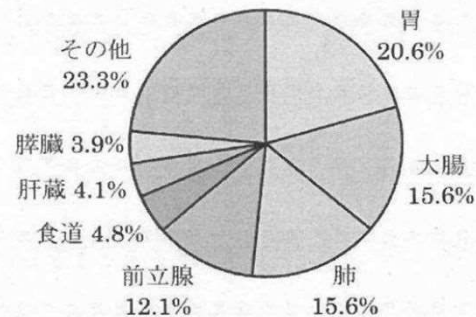
# 部位別罹患割合(男性)



## 宮城県地域がん登録

図2. 部位別がん罹患割合 (2014年)

男性



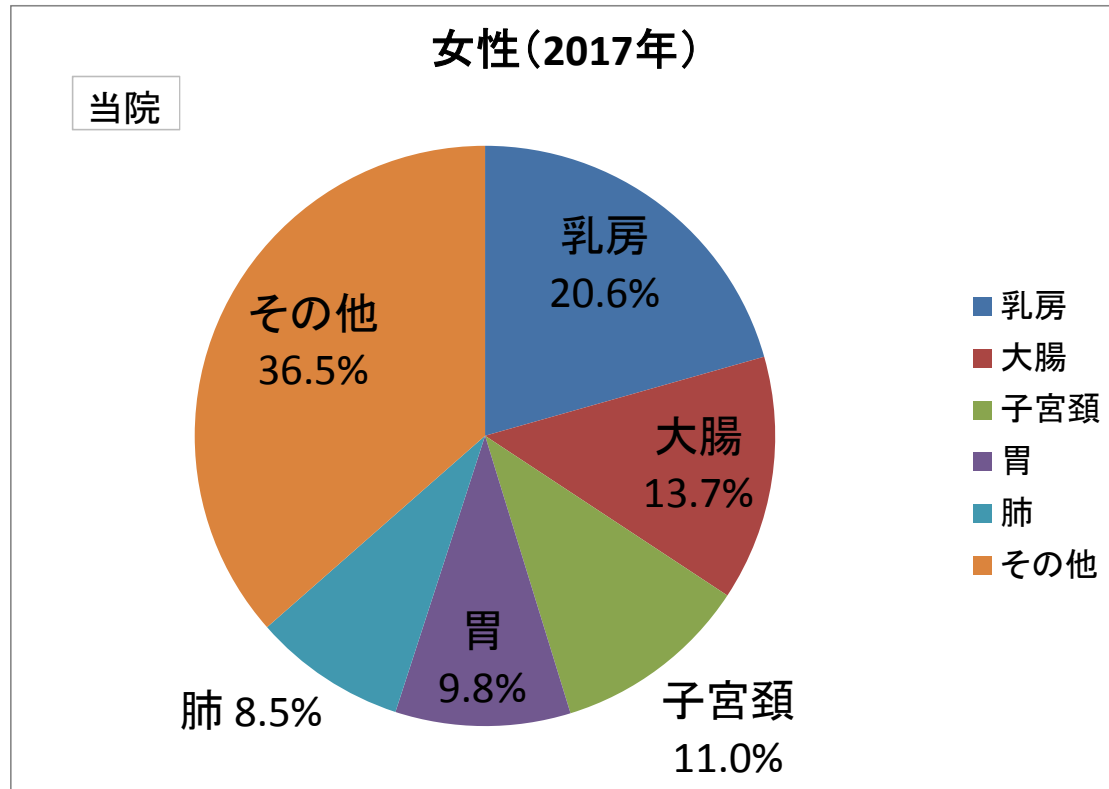
## がん罹患数予測(2017年)

男性	
部位	罹患数
全がん	575,900
胃	90,400
肺	86,700
前立腺	86,100
大腸	85,500
肝臓	27,000

※国立がん研究センター

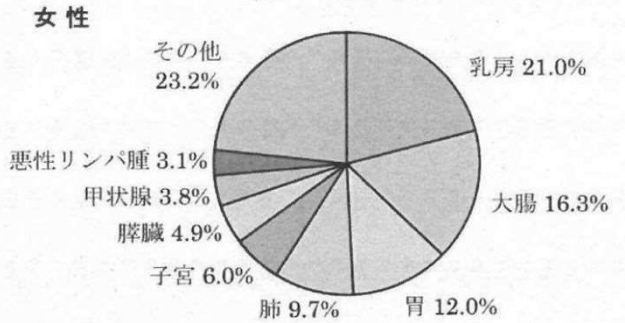
○宮城県の罹患割合(2014年)では、5位が食道である。当院の食道がんの割合は、43人(3.7%)である。国の罹患予測(2017年)上位5部位は、胃、肺、前立腺、大腸、肝臓であるが、当院では膀胱がんが上位5部位に入っている。

# 部位別罹患割合(女性)



## 宮城県地域がん登録

図2. 部位別がん罹患割合 (2014年)



## がん罹患数予測(2017年)

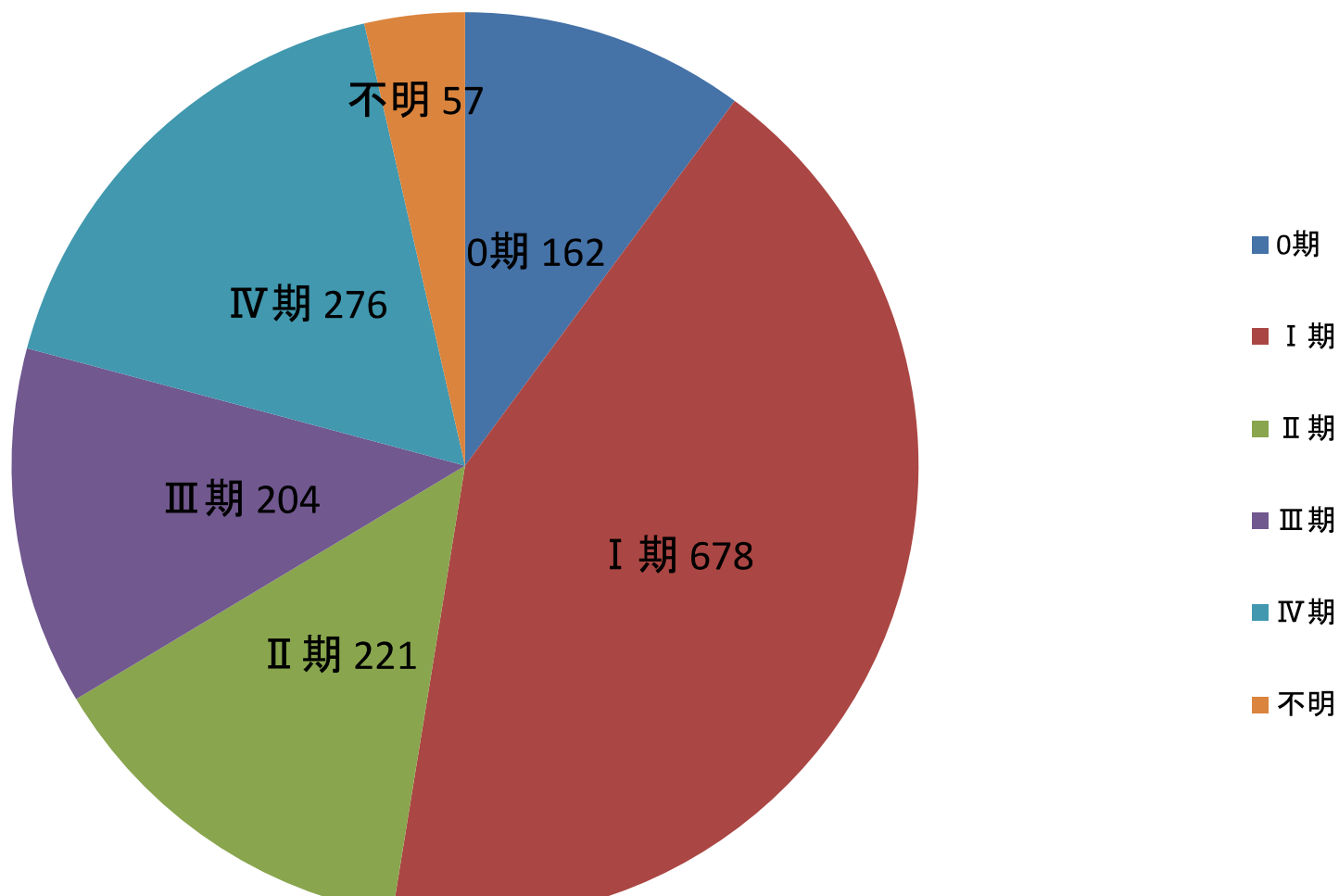
部位	罹患数
全がん	438,100
乳房	89,100
大腸	64,000
胃	42,400
肺	42,000
子宮	28,100

※国立がん研究センター

○宮城県の罹患割合(2014年)と、国の罹患予測(2017年)上位5部位は、乳房、大腸、胃、肺、子宮であり、当院も同様の傾向が見られる。



## 2017年 治療前ステージ別集計 (当院初回治療開始症例)

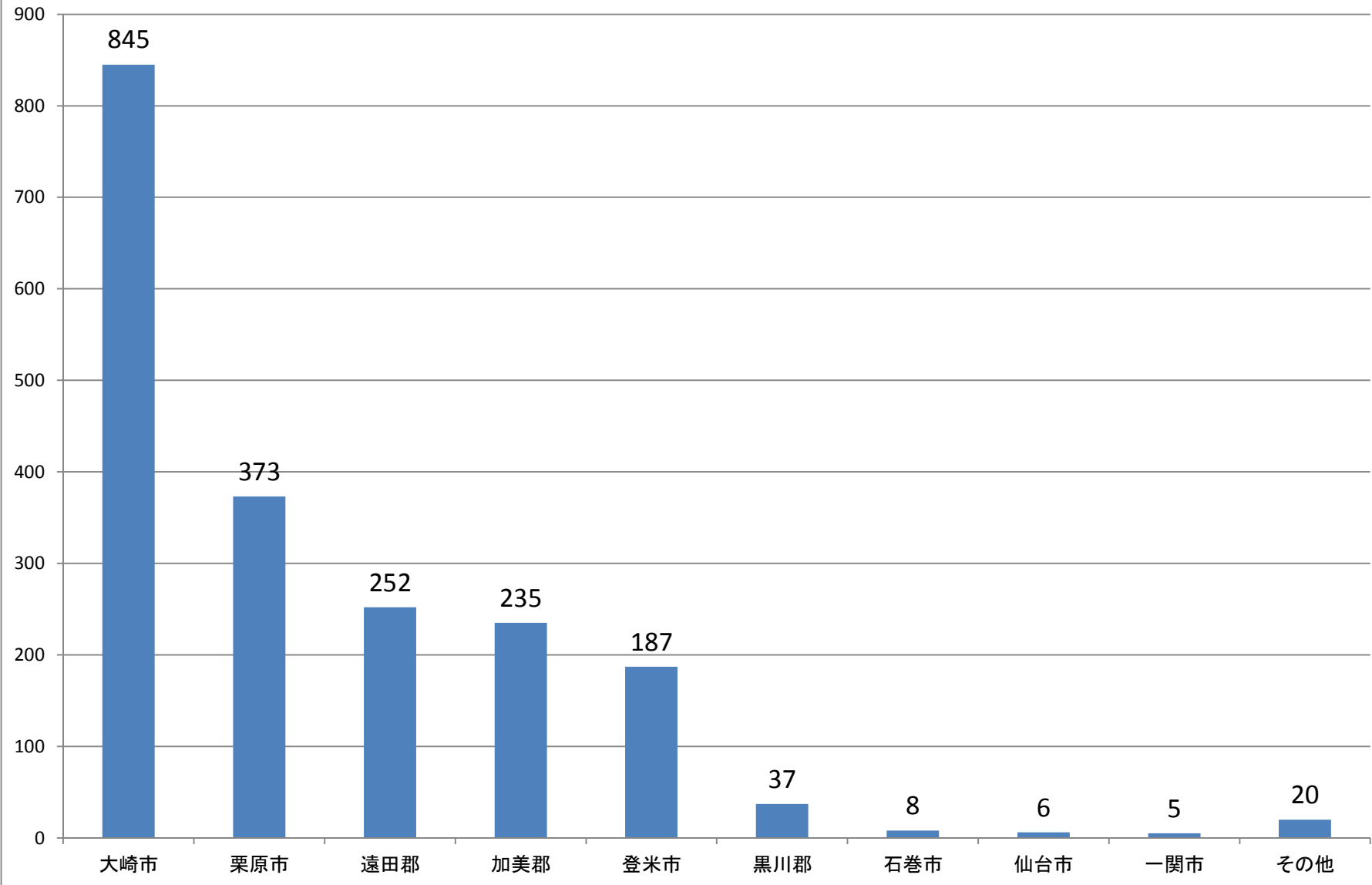


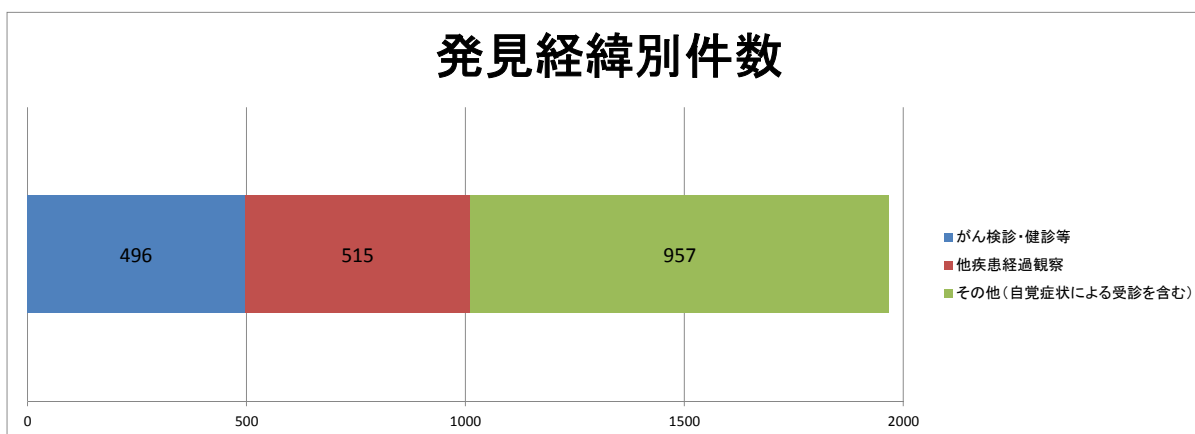
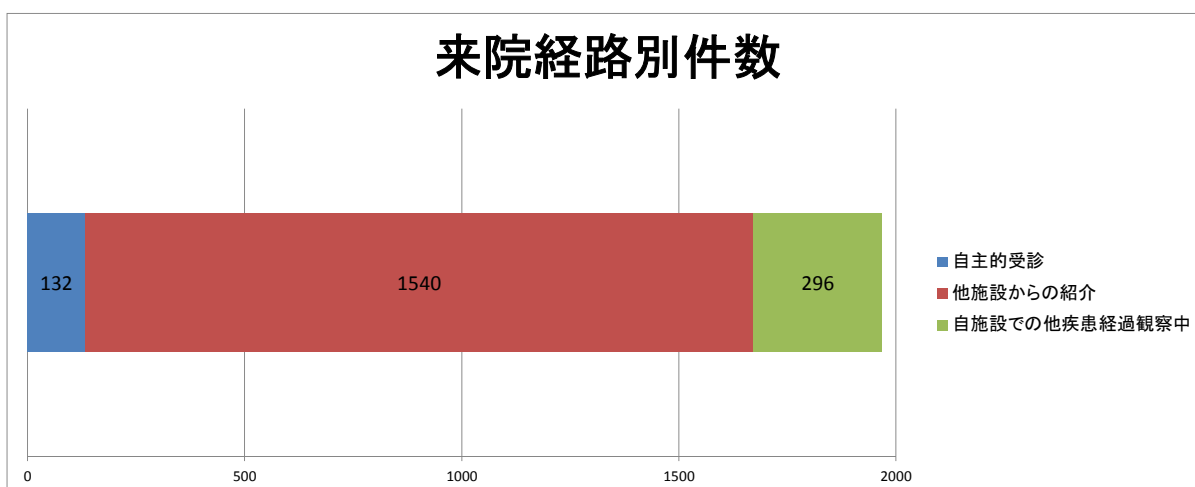
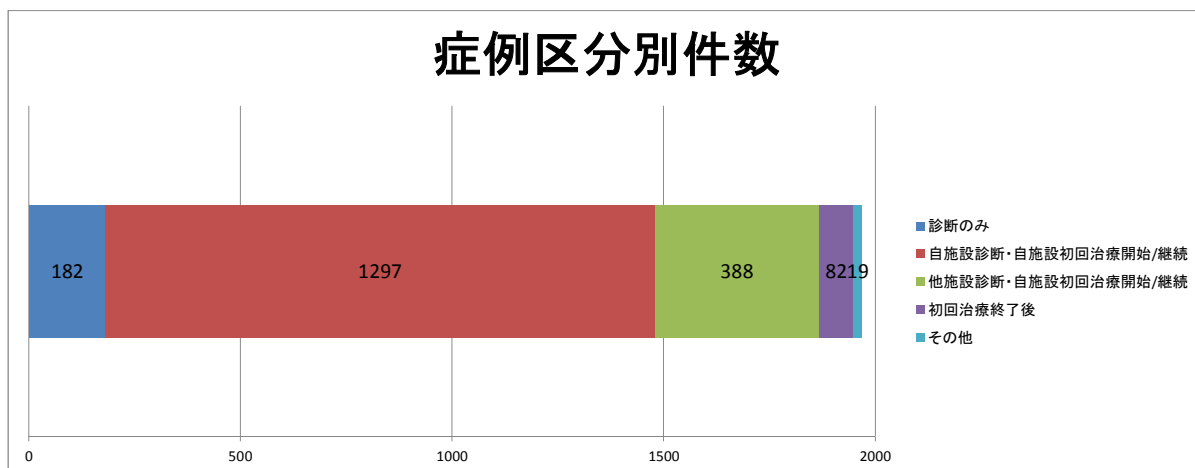
○UICC病期分類方法により、何らかの治療が実施される前に診断されたステージ。

手術などの治療で初めてがんと診断された場合などは「不明」となる。

○0期：上皮内， I期：限局， II期：所属リンパ節転移， III期：隣接臓器浸潤， IV期：遠隔転移

# 診断時住所別件数





#### ○症例区分

- ・ 腫瘍の診断および初回治療の過程に、当院でどのように関係したか
- ・ 自施設診断，他施設診断を問わず，当院初回治療例が85%
- ・ 診断のみの症例は，前立腺癌ロボット手術希望症例や，頭頸部がんの宮城県立がんセンター紹介例などを含む

#### ○来院経路

- ・ がん患者さんがどのような経路によって当院を受診したのか
- ・ 他施設紹介例が8割
- ・ 自主的受診は救急搬送や，二次検診症例

#### ○発見経緯

- ・ どのようなきっかけでがんが発見されたか
- ・ 何かしら症状があって受診する症例が半数を占めている